

喜界町

図書館だより

9月号



【 通算 第303号 】
2021（令和3）年9月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL：0997-65-0962
FAX：0997-65-2523
e-mail:toshokan@kikai-lib.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して
一時の心の触れ合いをつかむ、きっか
けづくりのお手伝いをしています。

敬老の日に寄せて！「拾い読み」こそ極上の「暇つぶし」

ジャーナリストの轡田（くつわだ）隆史氏は著書「100歳まで読書」の中で「すでに読んだことのある本を年をとってから拾い読みするのは楽しい。はじめて接する本をまるごと読むのはしんどいが、拾い読みの再読なら大丈夫。先日、昔読んだ本を久しぶりに拾い読みで再読したら、拾わなかった部分についても想像の力が強く働いて、昔読んだときよりはるかに面白く感じた。つまり、陶器の破片から想像するもとの姿の方が、本当のもとの姿より美しく感じられるのと同じなのかもしれない。若いころ読んだ本を年老いてから『拾い読み』で再読する効用は大いにあるようだ。まさに『拾い読み』こそ極上の『暇つぶし』になるとぼくは信じて実行している。」と述べています。

まだ読んだことのない本をしっかり読むことは勿論素晴らしいことですが、時には昔読んだ本を「拾い読み」で読むことも気軽に多くの本が読めていいかもしれませんね。

外部の目を見た喜界島の八月踊り

旧暦の8月、9月は島遊び（豊年祭）の季節です。島遊びといえば八月踊りがつきもの。喜界島の八月踊りについて、ある研究資料に「喜界島の八月踊りは女性が主役といった印象を強く受けます。踊り手は女性が大部分を占めていて、歌掛けは女性同士で行われます。踊り手の女性たちは晴れ着やよそ行きを着たり、手拭いを被ったりして着飾っています。それで、男性はどうしているのかというと、踊りの輪のまん中で太鼓を打ったり、輪に加わり、太鼓を打ったり踊ったりする人もいますが、多くの男性は、踊りの場の周囲に設けられた席で、一杯飲みながら見学しています。ただし、八月踊り全般の面倒をみる「頭取（とうどうい）」「勢頭（しいどう）」という役は、昔から男性が務めてきたといえます。」と記されています。

いくつかの集落の八月踊りを観ての感想ですから当たらない集落もあるとは思いますが、長い年月をかけて先人たちが受け継いできた喜界島独特の八月踊り、シマ（集落）独特の八月踊りを、絶やすことなく後世に引き継いでいってほしいと思います。 参考資料：国立民族学博物館資料「喜界島で『奄美の八月踊り』を見る」（2009年）

おしらせ

本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。
興味のある方は、図書館へ連絡ください。

9月の図書館関連行事の 中止について

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月に予定していました図書館関連の行事をすべて中止にいたします。町民のみなさまには、大変ご迷惑をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

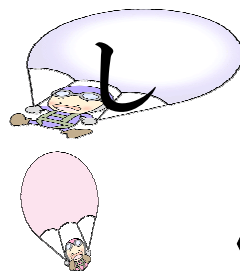
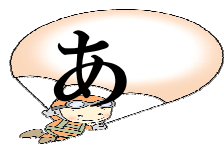
○喜界町図書館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月12日から閉館しておりますが、いつから開館するかについてはまだ決定していません。このことについても、決定次第町民のみなさまにお知らせいたしますので、併せてご理解のほどよろしくお願いいたします。

江戸時代の読書法

およそ書を読むはまず手を洗い、心を慎み、姿を正しく、机のほこりをはらい、書物を机に正しくおいてすわって読むがよい。（略）

およそ本を読むときは、いそがしうに早く読んではいけない。ゆっくり読んで一字々々、一句々々はっきりさせないといけない。一字も誤ってはならぬ。（略）

心が到らずしてむやみに口で読んでも覚えぬ。また無理に暗記させても時がたてば忘れてしまう。ただ心をこめて多く何べんも音読すると、自然に覚えてながく忘れない。回数を数えて熟読するがよい。一つの本をすっかり読んでから、また別の本を読むがよい。
貝原益軒著「和俗童子訓」（1710）



《おとなの本》

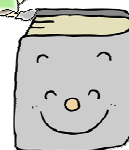
《こどもの本》

- ★『神よ憐れみたまえ』小池真理子 著 新潮社
昭和38年11月、三井三池炭鉱の爆発と国鉄の事故が同じ日に発生した夜、12歳の黒沢百合子は何者かに両親を惨殺された。音楽家を目指す美貌の彼女の行く手に、事件が重く立ちはだかり…。
- ★『婿どの相逢席』西條奈加 著 幻冬舎
小さな楊枝屋の四男・鈴之助は、相思相愛のお千瀬の生家である大店の仕出屋「逢見屋」へめでたく婿入り。誰もが羨む逆玉婚のはずだったが…。夫婦奮闘記。
- ★『九十歳のラブレター』加藤秀俊著 新潮社
突然逝ってしまった、小学校の同級生の妻。戦争、めぐりあい、マイホーム創世記、ペット遍歴、米寿の自動車事故、ぼくたちのお墓…。老社会学者が愛情深く辿るある夫婦の心の旅路。
- ★『君と歩いた青春』小路幸也 著 中央公論社
- ★『「一生懸命」の教え方 日大三校・小倉流「人を伸ばす」シンプルルール』小倉全由著 日本実業出版社
- ★『父勉と子育て』春陽堂書店編 春陽堂書店

- ★『人魚の夏』嘉成晴香作 まめふく絵 あかね書房
春、小学校5年生の小谷知里のクラスに転校生がやってきた。男子にも女子にも見える海野夏は、すぐ人気者になるが…。将来を考えるため陸に上がった人魚の子と、秘密を知ってしまった少年の物語。
- ★『早すぎた天才』大野正人著 文響社
ライト兄弟より先に飛行機を発明した二宮忠八、昆虫の死体を見て研究する昆虫学者がほとんどのなか、昆虫の生き方を研究したファール…。時代よりも早く才能を発揮してしまった天才14人を紹介する。
- ★『お化けの猛暑日』川端誠作 BL出版
朝から気温が上がり、お化けたちもあまりの暑さにダウン。そこで、お化けたちは龍に雨を降らせてもらうため、一反木綿に空へ頼みに行くようお願いした。空にのぼり、ようやく龍に会えた一反木綿は…。
- ★『友だちは図書館のうれしい』
草野あきこ作 山田花葉絵 金の星社
- ★『eスポーツプレイヤーになるには?』
ウェブレイド・ラベリス監修 柳葉キリコイラスト 金の星社



7月の貸出ベストリーダー3



一般書			児童書			雑誌		
1	湯どうふ牡丹雪	山本 一力 /著	1	奄美の道で生きものみつけた	絵本	1	特選街	7月号
2	医学のひよこ	海堂 尊 /著		ゴミの島のサバイバル	自然科学		サライ	6月号
	インドラネット	桐野 夏生 /著		どうしてしんたがコロナになるの?	自然科学	2	週刊文春	6月10日号
	おれたちの歌をうたえ	呉 勝浩 /著	2	うんこのたつじん	絵本		Newton	7月号
	50歳になりまして	光浦 靖子 /著		おばけいしゃ	絵本		ゆうゆう	7月号
	ねぼけノート	あさと ひわ /著		けしごむくん	絵本		LEE	6月号

9月

日	月	火	水	木	金	土
8/29	8/30	8/31	1	2	3	4
	休館日			資料 休館日		
5	6	7	8	9	10	11
	休館日					
12	13	14	15	16	17	18
	休館日					
19	20	21	22	23	24	25
	祝日開館日 (敬老の日)	休館日				
26	27	28	29	30	10/1	10/2
	休館日					

※ は、休館日です
《毎週月曜日・第1木曜日(祝日の時は翌日)》
・開館時間 午前10時～午後6時

7月統計	貸出冊数	令和3年度合計
	3,024 冊	13,524 冊
開館日数 (25日)	来館者数	令和3年度合計
	831 名	2,878 名

おはなし会・ミニ映画

★9月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全回中止となります。

